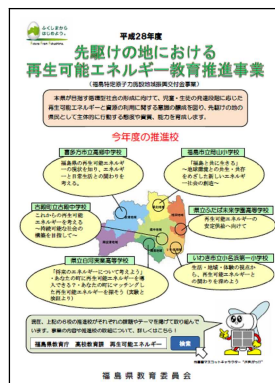


## 1 総合的・系統的な指導計画の作成

- 環境教育を通して「身に付けさせたい能力や態度」及び「環境をとらえる視点」を具体的に位置付け、各教科等と環境教育との関連を明らかにした**横断的な教育課程**を編成する。
- **地域の環境の特色**を生かしたり、**環境に関わる学習対象の重点化**を図り、発達や学年の段階を考慮した**体験活動**を中心に、問題解決的な学習を効果的に設定する。
- **家庭や地域と積極的に連携**し、環境、エネルギー、資源等へ関心をもたせ、これらの問題を家庭や地域社会と関連させて考える学習活動が展開されるよう指導計画を工夫する。

## 2 子どもが主体的に考え判断し、行動できる資質や能力を高める指導方法の工夫・改善

- **先進的な取組の事例**（\*）を参考にするなど、環境に関する諸問題や再生可能エネルギーに関心を持ち、主体的に情報を収集し、考え、まとめ、発信する**探究的な学習活動の充実**を図る。
- ◎ 環境問題、環境保全に対する問題意識や認識をもたせるため、**地球温暖化防止活動**（福島議定書、エコチャレンジ等）や**環境教育関連の各種コンクール等への参加の促進**など、実践的な活動を推進する。
- 地域で活躍する人材やNPO法人等の専門家を、ゲスト・ティーチャーとして活用するなど、**外部との連携**を図り、学んだことが家庭や地域社会の中で積極的に活用されたり、学びが実感を持ったものに深化したりするよう展開する。



※ 先駆けの地における再生可能エネルギー教育推進事業推進校指導事例（福島県教育庁高校教育課HP）



※ 国立教育政策研究所発行  
環境教育指導資料【幼稚園・小学校編】  
(平成26年10月)

※ 国立教育政策研究所発行  
環境教育指導資料【中学校編】  
(平成28年12月)